

光ファイバジャイロ 技術用語解説

公式カタログ内	弊社カタログ内	用語解説
Bias	—	ジャイロが静止状態の時に生じる電気出力のこと。ゼロ点誤差、オフセット。
Bias stability	Bias, RMS	ジャイロの Bias は、時間経過とともに継続的に変化していく。この変化量のことを Bias stability（バイアス安定性）という。
Endurance Temperature Range	耐久温度	ジャイロが起動しておらず、かつ特定時間内であれば、ジャイロが損傷しない温度範囲のこと。
Gyro Axis Orientation	—	感度軸の向きは、図面および実物に記載の矢印によって示される。ジャイロが取り付けられた物体が時計回りに運動すると正の信号が出力される。
Input range	検出範囲	ジャイロが一秒間に出力として変換できる最大の角速度のこと。データシートに記載の値は参考値のため、製品により僅かなばらつきが生じる場合がある。
Minimum magnetic sensitivity	磁気応答	磁界の影響により発生する誤差量のこと。磁気応答。
Readiness time (start-up)	起動	ジャイロに電力供給を開始してから、スケールファクタが 90%に到達するまでに必要な時間のこと。
Scale factor (SF)	—	ジャイロが、入力（角速度）に対して直線的に出力（電圧）を行うときの感度を、mV/deg/s で表したもの。Open-loop 式の光ファイバジャイロは、角速度が増加するにつれスケールファクタが僅かに減少する。スケールファクタの実測値は製品により異なるため、個々のシリアル番号が参照される。スケールファクタは温度依存性がある。